

島根 更生保護

NO.191

(平成28年10月1日発行)
島根県保護司会連合会

〈島根更生保護データ〉

保護司総数 497人

保護観察事件 148件

生活環境の調整事件 236件

(28.9.1現在)



神産れし窟いわや加賀かかの潜戸くけと
(松江地区 北原則夫保護司提供)



受刑者の更生について

松江刑務所
所長 小沼孝行

受刑者の更生のために、矯正施設の刑務官は、受け持ち受刑者の指導に日々励んでおります。

皆様ご存知のとおり、特別改善指導に係る各種改善指導プログラム（薬物依存離脱指導就労支援指導等）の実施や各種職業訓練（フォークリフト運転科等）の実施は、受刑者の更生のために重要な役割を果たしておりますが、それらを実施する前提として、刑務官と受刑者との間に、信頼関係のようなものが構築されているということが、円滑な指導を実施する上で欠かせないものになっております。

受刑者の中には、矯正施設に対して不信感を抱いている者や各種指導に対して消極的な考えを持っている者も少なからずおりますので、そのマイナスの心の壁を取り払うために、各担当刑務官が根気よく説諭を繰り返し、受け持ち受刑者が「信じてみよう。今回は頑張ってみよう。」という心境になるまで、日々努力精進しております。

う。」という心境になるまで、日々努力精進しております。

そして、このような努力の結果、心の壁が融解した受刑者たちについては、その後の改善指導プログラム等が円滑に実施できているというのが実情です。

これらのことについては、刑務官の職務として当たり前であるという理由から、あまりスポットライトを浴びることはありませんでしたが、地道な努力があるという事実を、この紙面をお借りしてお伝えできればと思い、掲載させていただきました。

また、その他にも、当然のことではありますが、関係機関等との連携がなければ、受刑者の円滑な社会復帰は実現できませんので、保護観察所等との連絡調整を緻密に行うよう配慮しており、受刑者の更生のために、大きなエネルギーを傾注できていると思います。

一人の人間の心を変えるということは至難の業ではありますが、諦めることなく、今後も矯正施設としての努力を怠らないよう精進して参ります。

地域に根差した活動を各地で展開!

今年で第66回! 7月は“社会を明るくする運動”強調月間です!



Paix 2 (北尾真奈美さん、井勝めぐみさん)のお二人に、島根県のゆるキャラ「しまねっこ」と「吉田くん」も協力!

第66回を迎えた7月の“社会を明るくする運動”強調月間において、本年も各地区推進委員会により、さまざまな活動が各地で展開されました。

また、今年の一泊保護観察所長には、鳥取県出身の女性デュオ「Paix 2」(ペペ)のお二人(北尾真奈美さん、井勝めぐみさん)に御就任いただきました。Paix 2さんは、15年以上390回に渡り刑務所・少年院でのプリズンコンサートが続けてこれ、現在、保護司・矯正支援官も務めていらっしゃいます。Paix 2さんには、7月1日朝の松江駅頭での街頭広報活動に携わっていただいたほか、午後からは松江市総合福祉センターにおいてトーク&コンサートを行っていただきました。



Paix 2さんが松浦松江市長を表敬訪問!



松浦市長に総理大臣メッセージを伝達!



JR松江駅前で広報活動を行っていただきました!



雲南地区



腹話術で社明のお話と「おえかきホゴちゃん」を実施

邑智地区



美郷町建設業組合に社明広報と協力雇用主登録を依頼

安来地区



社明推進大会での総理大臣メッセージ伝達

浜田地区



通勤通学に合わせて街頭、学校で広報活動

隠岐地区



保護司、更女、警察、PTA等との夏休み期間中夜間パトロール

益田地区



左:社明推進大会でのPaix 2さんコンサート
右:街頭広報活動

出雲地区



左:ショッピングセンターでの街頭広報活動
右:家庭に飾られた社明七夕飾り

大田地区



左:街頭広報活動
右:学校訪問で社明をPR

国会議員による更生保護施設視察について

平成28年7月11日に、島根県選出の島田三郎参議院議員による更生保護施設しらふじの視察が行われました。国会議員による更生保護施設の視察は、昨年度から全国的に行われており、これまでに安倍内閣総理大臣を始め160名を超える国会議員の方々に各地の更生保護施設に足を運んでいただき、刑務所出所者等を受け入れ、昼夜分かたず彼らの自立更生を促し、その再犯の防止に努めている現状に触れていただいているものです。

視察当日、島田参議院議員は施設内部の様子や、施設内での生活や処遇の様子等が掲示されたパネルを熱心にご覧になられたほか、施設入所者の少年に声を掛けられる場面もありました。

その後、更生保護施設しらふじ吉長理事長、矢野施設長との意見交換が行われ、その中で職員体制がぜい弱であることや安定した経営を維持するために努力していること、地域社会との共生・調和に向けて心を砕いていることについて理解を深めていただいたほか、一連の就労支援関連施策についても話題となりました。

島田参議院議員からは『地域住民の方々との関係づくりが重要との話はもっともだと思う。』『更生保護施設が安定した経営を維持するためには高い収容率を維持しなければならないことは理解した。』さらに、『島根県内の雇用情勢をみると、人手不足に陥っている業種もある。協力雇用主の制度は、もっと拡充させる必要があると考えている。』といった発言がありました。

島田参議院議員の視察は、当初の予定時間を超えるなど熱を帯びたものとなりました。



しらふじバザーの開催について

しらふじでは、昨年と一昨年、バザーを開催しました。今年も11月13日に開催する予定です。このバザーは、松江地区更生保護女性会から日用品など販売物品の寄贈を受けて開催しているもので、当日は、女性会の役員の方々に販売のお手伝いもいただきました。このほか、しらふじでの処遇やレクリエーションの状況、利用者の作文、当施設の建物の変遷などを写真パネルで紹介しました。また、当施設の利用者も販売員、駐車場係などの役割を立派に果たしてくれましたし、地域の皆さんとの交流もできました。今年も多くの皆様のご来場をお待ちしています。

しらふじ施設長 矢野 喜 郎



保護司活動インターンシップについて

本年度から保護司活動インターンシップ制度が始まりました。これは保護司会が地域住民又は地域の関係機関・団体に所属する人等に保護司活動を体験する機会を提供することにより、地域住民等の保護司活動に対する理解と関心を高め、保護司適任者を確保する間口の拡大を図るとともに、関係機関・団体との一層の連携強化を図ることを目的としております。

具体的には、保護司会が主体となって行う会議・研修、地域活動、犯罪予防活動に保護司活動に関心のある地域住民、地域の関係機関・団体に所属する人、更生保護女性会員、BBS会員に参加していただくことにより保護司活動を体験する機会を提供します。

保護司会が主体となる会議等である必要がありますのでご注意願います。また、参加者も、例えば、更生保護女性会やBBS会との合同での会議・研修に更女、BBS会員が参加するのは当然ですので、インターンシップとしては計上できません。

インターンシップ実施後、保護司会に参加人数に応じて保護司実費弁償金が支給されます。



地区だより

子ども達に更生の心を届けよう パート2

出雲地区保護司会保護司

橘 亮 秀

昨年度に続き、本年は平田中学校2年生(138名)を対象に、松江保護観察所の細木直久企画調整課長様に「犯罪や非行のない明るい社会をみんなで築こう～更生保護について～」と題しお話を聞きました。

45分の講演が終わった後、生徒の代表の方からお礼の言葉がありました。その後、教室で感想を書き、先日受講した全員から感想文が届きました。(その一部です)

「私は講演を聞くまで、「更生保護」とは何がよく分かりませんでした。でも今日の講演を聞いて、更生保護とは、犯罪や非行をしてしまった人が償いをして、立ち直る時の手助けをする大切な仕事だと知りました。犯罪を犯した人は何か理由があってやってしまったと思うので、刑務所から出てきた人が、周りから白い目で見られ、行き場を失い、再び犯罪をしてしまわないように、しっかりと普通の生活に戻れるように、保護観察所や

保護司さん達を中心に、周りの人達もサポートをしてあげないといけないと思いました。私はそういう人が周りにいたら、冷たい目で見たり、差別をしたりしないで、みんなで支え合っていきたいと思います。」

罪を犯した人が、反省と償いをした後、社会に戻り、正しく更生していくことの大切さを子ども達の講演後の感想文から感じられました。

これからも、保護観察所を通じ、小・中学生を対象にした「社会を明るくする運動」が各地域で行われることを願っています。



生徒代表御礼のことは

平成28年度第2回地区保護司代表者等協議会開催

平成28年9月14日(水)松江保護観察所会議室において平成28年度第2回地区保護司代表者等協議会が開催されました。今回は、地域における更生保護の諸活動を一層充実したものにするためには、保護司会、更生保護女性会及びBBS会が相互に連携していくことが重要であることから平成26年3月に決定された「更生保護ボランティアの協働に関する三者宣言」を踏まえ、それぞれの団体の相互理解の促進と相互連携の在り方について検討・協議しました。

協議事項Ⅰとして「更生保護女性会とBBS会との連携強化について」と題し、これらの状況について各地区担当者から報告がありました。更生保護女性連盟は28地区で約2600名程度の会員からなっていますが、地区によりそれぞれの特徴や事情があり地区保護司会とうまく連携がとれている地区、とれていない地区があるようですが、これからは出来るところから連携をとっていくという事になりました。又BBS会は、かつてはあったが今は休止している、消滅したなどで現在活動しているのは松江、出雲、浜田の3地区のみですが、それぞれ地区との連携もとれており、又、地区で積極的に活動もなされているようです。今年度は、保護観察所主催で保護司会・更生保護女性会・BBS会の連携強化研修を東部、西部でそれぞれ開催いたします。

午後からは、協議事項Ⅱとして「更生保護サポートセンターの効果的な活用について」が取り上げられました。本年度県内9保護区の全地区において、サポートセンターが設置されることになりましたが、更生保護サポートセンターは地域における更生保護の拠点であることから、より一層の効果的な運営・地域連携の在り方について協議がなされました。様々な現状報告がありましたが、多くの地区で面接場所や事務所(事務室)が確保された事が最も喜ばれたとの事でした。

又、それぞれ連携を保つためにも緊急連絡網を作成しておくことになりました。

Paix 2(ペペ)さんトーク&コンサート開催される

第66回“社会を明るくする運動”の一日松江保護観察所長行事として、平成28年7月1日(金)松江市総合福祉センター大ホールにおいてペペさんによるメッセージコンサートが開催されました。北尾真奈美さん、井勝めぐみさんの二人は鳥取県出身で2000年にデュオ結成!以来、受刑者のアイドルとして各地の矯正施設等でメッセージコンサートを開催し、被害者の思いを胸に決して「慰問」とは呼ばないで、そのコンサートで更生への心のスイッチを押し続けた活動をされています。保護司・矯正支援官にも任命され、“命の尊さ”や、“しあわせとは……”をテーマにした曲を数多く発表し、又海外メディアにも活動が配信されています。

この日は、松江市在住の夢実(ユミ)さんの友情出演(ピアニスト)もあり、先ず自分達の今の仕事に出会ったきっかけや更生事業に対するいろいろな想いのトークショー、そして息の合ったハーモニーで「なつぐも」、「あなたと一緒に歌いたい」、「元気出せよ」「ええじゃんか」など全部で12曲の熱唱があり会場は大変に盛り上がりしました。

このメッセージコンサートを通して“犯罪のない社会を目指して、本当の幸せとは…”を考えるととてもよい機会になりました。今後もペペさんのさらなるご活躍を期待しております。



平成28年度 島根県更生保護事業 関係者顕彰式典のご案内

と き 平成28年11月16日(水)

午後1時20分より開会

ところ 松江市総合福祉センター

4階大ホール(松江市千鳥町70番地)

「愛の図書贈呈式」のご案内

と き 平成28年12月7日(水)

午前10時より

ところ 松江保護観察所会議室

敬 弔

下記の方がご逝去されました。ご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

元保護司 若 槻 明 禪(安来)(平成28年6月27日死亡)

元保護司 錦 織 清一郎(出雲)(平成28年7月23日死亡)

元保護司 山 根 安 司(益田)(平成28年8月1日死亡)

元保護司 森 脇 光之助(大田)(平成28年8月7日死亡)

元保護司 齋 藤 佐 美(浜田)(平成28年8月23日死亡)

元保護司 加 村 三 郎(雲南)(平成28年9月7日死亡)

元保護司 大 居 進(浜田)(平成28年9月21日死亡)

死亡者叙位・叙勲

従六位

澤 江 秀 夫(益田)(平成28年5月8日死亡)

卯 木 晃 哲(雲南)(平成28年6月19日死亡)

一 前月号の訂正

平成28年4月1日発行機関紙更生保護(No.190号)6P保護司の異動で新任保護司の小松良成(邑智)と記してあるのは(浜田)の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

ご支援ありがとうございました

(島根保護観察協会)

敬称略

古瀬 誠	岩谷百合雄	藤間 恵一
岡 賢治	舟越 憲雄	道坂 博旨
桑原 壽之	野上 雄護	原本 達治
神一 紀道	小林 修司	前島 泰

(表紙写真説明)

神産れし窟～加賀の潜戸～

松江地区 北原 則夫保護司

松江市島根町加賀の潜戸。ここは神の生まれた窟。母神の放った黄金の矢は、岩穴を射通し辺りを輝かせたと出雲国風土記は伝えます。矢はさらに沖に浮かぶ島をも射抜きました。潜戸巡りの観光船。神話の世界へと誘う50分の船の旅がお奨めです。